

地方オルグを展開(本部と共に) 組織拡大の大きな流れを作るために!

東日本管内は昨年12月16日からスタート

国労本部は、昨年11月の北海道本部を皮切りに、第83回定期全国大会決定である「組織拡大の大きな流れを作るために!」の実践に向け、組合員の声を聞き運動に活かそうとオルグを展開しています。東日本管内のオルグには東日本本部の執行部も同行、昨年12月16日の千葉地本からスタートし、20日には水戸地本、今年に入り1月9~10日に秋田地本、11~12日には盛岡地本に於いて受け入れの会議が開催され、2015年組織拡大への動きが幕開けしました。今号は、オルグ特集号とします。



(組合員の購読料は
組合費に含まれます)
港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 松井正義
編集責任者 伊藤隆夫

No. 760 定価 20円
2015年
1月30日

構えず気楽に大胆に
国労加入を
呼びかけよう

QRコードから
でも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

会場の 発言

【盛岡】 昨年3~5月に掛けて3名の拡大を勝ち取ることが出来た。それが最後ではなく、これからが本当の組織拡大のはじまり。
【青森】 組合員ひとりひとりに意識調査を行い、春闘にも繋げていきたい。

東日本からのオルグ 佐藤書記長

●労働協約改訂に向けた昨年の交渉では、協約の具体的な改訂とまではいかなかったが、締結以前から求めてきた新幹線通勤のモニター制度で、5月に規制時間の撤廃が行われた。言い続けた中の一つの成果である。
また、付帯する要求では、青年・婦人部の交渉も行った。青年部は久しぶりの取り組みで、一人



盛岡地本・盛岡支部
「地区協・分会代表者会議」
本部 菊池書記長



盛岡地本・青森支部
「第1回地区協・分会代表者会議」
東日本本部 佐藤書記長

ひとりが自分達の要求の根拠・主張を訴える事が出来たのは大きな成果。同時に、共通する事は、他労組の問題も含めて声も吸い上げ交渉が出来た事は、労働運動の継承から見ても大きな成果になった。引き続き今年も中央行動を含めたスケジュールで検討する。
今年度の改訂交渉は、現在日程調整中であるが、本部・本社間での交渉を支える意味でも、すでに職場に配布してある

本部からのオルグ 菊池書記長

●昨年の第47回衆議院選挙結果を受け、安倍政権の暴走は更に加速する。一連の動きを注視しつつ、それに対する闘いをしっかりと作らなければならない。
●今後アベノミクスの破たんが明らかになってくる中で、2015年春闘が闘われる事になる。方針については1月24日に第185回拡大中央委員会を開催し確認が、チラシの活用で話し合う場作り等、自分達の要求をはっきりと打ち出し、職場運動の活性化に向け「春闘期」を含め取り組みの強化を。
●労働条件改善と会社施策に対する取り組みについて、多くの職場で委託化が進んでいる。同時に東京4支社を中心に駅遠隔システム等の機械化等が進んでいる。
また3月のダイ改では、上野東京ライン・北陸新幹線延伸開業・京浜

する。生活実態調査アンケートでの生要求は、63,176円という結果となった。各ナショナルセンターの要求を見つ、国労としては定期昇給に加え、15,000円のベースアップを提起する。現場では、春闘が見えづらくなっているが、一人一要求の闘い等、しっかりと職場からの闘いを結合させた春闘が求められている。
●組織拡大については、昨年の第83回全国大会で不転の決意を持つ東北基地再編の問題がある。複数の支社にまたがる施策でもあり、要求の住み分けと情報の共有を進めていかなければならない。
他方、貨物会社については、中期経営構想をスタートした。根本的な構造矛盾を抱えた中で、更なる効率化施策が行われる事が予想される。基本は本部になるが、貨物協との連携からしっかりと対応していきたい。
●今回の本部オルグは、東日本としても組合員の声や意見を聞こうと同行している。組織拡大にうまい手はない。地道な取り組みがないと厳しい。一部役員だけでなく組合員一人ひとりが拡大に向け、どうするのが問題か。他労組の状況は様々であるが、正しい情報の共有化も重要であり、東日本としても組合員の皆さんに対し、9地方本部の情報の共有化をはかり運動の前進に向け取り組んでいきたい。

秋田地本2ヶ所で 1月9日・10日 オルグ開催!

本部・田中副委員長
東日本本部・武笠執行委員 出席



1/9 秋田支部・秋田車両センター支部合同



1/10 横手地区協議会

千葉地本 12月16日 組織強化・ 拡大会議



千葉地方本部は12月16日、千葉市内で「組織強化・拡大会議」を開催しました。

安田副委員長の開会あいさつの後、主催者を代表して坂口委員長が「労働者としての考え方を若い人に教えないといけない。春闘はアンケートの結果から生要額を勝ち

取る運動を。組織拡大した職場と努力している職場にお互いに学んで拡大していこう。仲間は国労加入の声掛けを待っている。実践をしてほしい」とあいさつしました。

国労本部からは菊池書記長と井村執行委員が出席、代表して菊池書記長が「昨年〇〇名の拡大が

あった。今年は大会以降〇〇名の拡大の報告を受けている。組織拡大は着実に進んでいる。経験を共有して実践するのがキーワードだ」とあいさつをし、東日本本部から佐藤書記長が「国労の旗が見える運動をして拡大につなげてほしい。ポスターやチラシなど張り出してアピールを」とあいさつをしました。

その後、地本組織部から「組織拡大と分会運動の活性化が重要課題。組織拡大は役員や個人の人頑張りだけでは限界がある。分会全員でフォローしながら若い仲間と係わ

りを持ち、拡大を勝ち取って行く。同時に他労組との違いを明確にするため、職場の問題を点検・摘発し、労働者としてのものの見方・考え方を意思統一する集会を大切にし、国労は元気が」と提起がされました。

その後、9職場から組織対策の取り組み状況について発言を受け、職場での新規採用者との関わり、組合説明会の開催、旅行や飲み会への誘いなど、関わりを持ちながら拡大に向けた取り組みを行っている発言が多く出されました。

発言を集約した堀越組織部長は「分会でまず集まるのが大事であり、分会で大会を開催してほしい。職場では超勤が蔓延している。若い人の声を聞き、それぞれの職場で組織拡大に向けて意思統一を図って欲しい」とまとめました。

最後に松田書記長が「もう一歩踏み込んだ拡大を！」と閉会のあいさつをして終了しました。

(千葉地本発)

水戸地本 12月20日 第8回全支部、 分会委員長・ 書記長会議

12月20日、水戸地方本部は大会以降の諸課題と組織拡大の取り組みについて、全支部・分会委員長及び書記長会議を開催し、全体で意思統一を図りました。

冒頭、塚原委員長は、「12月14日に行われた選挙では自公政権が過半数を占める結果となり、安倍政権の暴走政治が続く事が予想される。集団的自衛権の問題や秘密保護法、憲法改正へと『戦争のできる国づくり』に向け強行されることが懸念され、引き続き労働組合として何が出来るのかをしっかりと見定め行動を作っていく。また組織拡大では、3年8ヶ月ぶりに2名の拡大に成功した。数年来の関わりでの継続がようやく開花した

ことは喜ばしい。加入した仲間は『会社の扱いに、東労組が親身にならず不満が爆発したこと。親身になって相談に乗ってくれたのは国労の人達だった。自分もいつかは国労へと考えていた』と話している。今、組織としてやるべき事は、仲間の声を瞬時につかみ、職場に渦巻いている問題点的に判断し組織運動へ繋げることが重要。今後は、『国労に入れ!』を合言葉に多くの仲間を迎え入れよう。引き続き地方本部を先頭に、分会とも協力し組織拡大に更に前進して行こう」と報告しました。

会議には、本部出戸執行委員、東日本本部佐藤書記長・伊藤執行委員も出席し、「本部指令を基に現在も組織拡大に全国で奮闘されている。今後の組織人員を見た



ときに、収支のバランスが崩れかねない実態も予想される。水戸地方本部の連続した組織拡大は、全国の仲間へ自信と展望を示した。継続し諦めず粘り強く運動を展開する事が大切で、その事が大きな力になる」と訴えました。

(水戸地本発)

「もう一歩踏み込んだ拡大を！」と閉会のあいさつをして終了しました。

(千葉地本発)

アフラック
最新のがん保険、
新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/
新生きるための
がん保険 Days

女性特有のがんにも
手厚い
NEW/
新生きるための
がん保険 Days

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております) (引受保険会社)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日